

# 子供のトークン化

## 目 概要

### 概要

- ・BTCに代表されるようなトークンをブロックチェーン技術を用いて子供一人一人へ発行する。
- ・その子どもの独自トークンを第三者が購入することでそのトークン自体が値上がりする。子供または親が保有している独自トークンを売却することで教育費用に転換できる。
- ・どのトークンに投資するかは、子供の成績表や健康状態といった会社でいう決算書のようなもので評価して行う。

### メリット

- ・投資者：そのトークンの値上がりによって利益を得ることができる。
- ・発行者(子供)：投資してもらうことで教育費に使えるお金を確保することができる。
- ・発行者(子供)：子供は家庭環境によらず成績や有望だと思われることで進学費用が集まる。
- ・トークンの値上がりを目指すために子供も勉強や有望と思われるために活発になってくれそう。

## 目 解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？

課題：教育費等の子育てコストの増大(参考：<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/angelplan.html>、厚生労働省) 子供の教育費を確保することで子育てコスト増大に対応する。

## 目 解決方法：課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。

第三者が子供に投資できるようにする。

## 目 類似（独創性）：現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください（検索してみてください）

BTC、ETH、NFT、証券

Open sea、Coinbase、Coincheck

給付型奨学金

## 目 有意性：既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか（存在している場合のみ記載ください）

子供は他の投資対象よりは高い確率で生存する(20歳の生存率は92%%、20年後の会社生存率0.3%)

## 目 実現方法：どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）

そトークンは下記URLのように簡単に発行できるため、子供独自のトークンとして発行して販売する。

<https://tokenfactory.surge.sh/#/factory>

販売はCoincheckのような売買アプリで売買を可能にする。

発行枚数1万枚、1枚あたり1円からスタート。

## 目 課題・障壁：実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか

トークンを購入するハードルが高い。

→CoincheckやCoinbaseのような大手と連携し、安心性と利便性を向上させる。

セキュリティ

→ブロックチェーンは書き換え不可能なため、不正はできないので安心・安全である。



期間・コスト：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください

独自トークンの発行に現在では4000円程度。

+

・大手暗号資産取扱所と協力しプラットフォームを利用する場合

→1千万円

・創業者の独自開発の場合

→サーバー利用料月1万円

→電気代月5千円

→PC類：20万円



未来像：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください

投資者：子供の成績向上とともに値上がりしリターンを得ることができる。

子供：自分の頑張りによってトークンが値上がりするため、子供が頑張るモチベーションにもなる。

トークンが値上がりすれば、大学などに進学する費用にすることができる。さらに留学などお金による学習の制約がなくなる。